

A 小学校 ～問題解決的な活動を発展的に繰り返す～



一年を通して探究活動が複数サイクル行われるように計画することで、問題解決的な活動が発展的に繰り返されるようになっています。

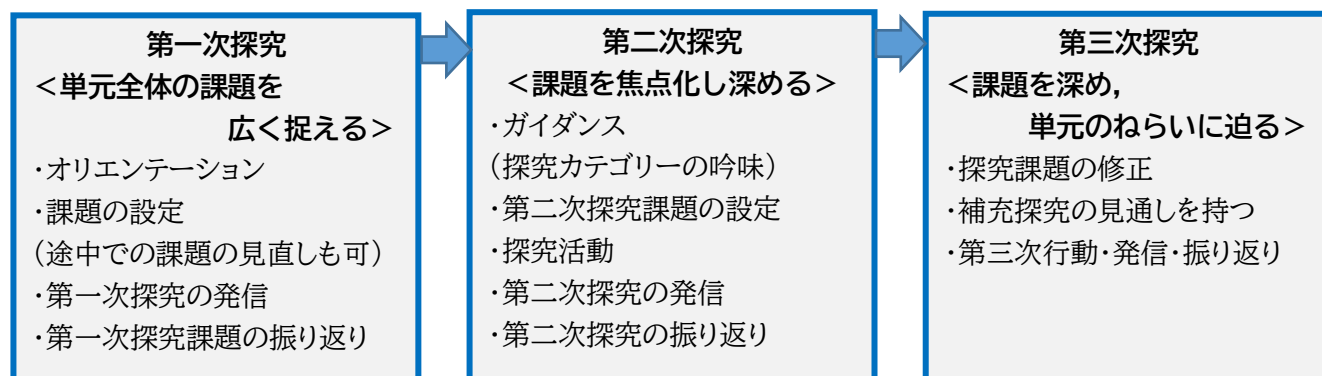


年間指導計画

年間指導計画は、児童が探究の過程を踏む中で育てたい資質・能力、設定したい体験活動、外部団体との関わり等、一年を通した児童の学習の方向性が具体的に記されています。

さらに、第一次探究として、探究の過程をたどりながら設定されたテーマについての理解を深める。第二次探究として、第一次探究で学んだ内容を基に新たな課題を設定し探究する。第三次探究として、第二次探究での発信の振り返りを基に、修正、補充、発展させたものをさらに探究していくというように、探究の過程を数回行う計画となっています。このことにより、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていきます。

A 小学校の探究的な学習の大まかな流れ



課題の設定

A 小学校の探究的な学習では、子供が問いを立てるまでの過程を大切にし、時間を掛けています。具体的には、課題設定の場面で体験活動や講師の方の講話を取り入れ、そこで感じた思いを大切にさせながら探究活動をスタートさせるなど、児童がテーマを「自分のこと」と思えるような工夫がなされています。

振り返り

第一次探究と第二次探究との間をつなぐ際の振り返りの時間も大切にしています。それにより、児童が解決したい課題をより具体的に捉え、思いを強くさせるなどの工夫がなされています。一単位時間の最後にも振り返りを行い、その振り返りを基に児童の学習の進み具合や考え等を見取り、その後の計画や指導を修正、改善のために生かしています。